



つくばセントラル病院

病院の概要

開設	1988年12月
開設者	社会医療法人 若竹会
院長名	金子 剛
病床数	313床
標榜科	内科、外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、心療内科、脳神経内科、脳神経外科、消化器外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、小児科、歯科、歯科口腔外科、眼科、精神科、皮膚科、麻酔科、放射線科、腫瘍放射線科、リハビリテーション科、
医師数	64人（歯科医を含む）
指導医数	45人
研修医数	2人
研修医の主な出身大学	東北大学、新潟大学、筑波大学 金沢医大、富山大学、東京医科歯科大学

外来患者数 | 318.7人／日

入院患者数 | 274.5人／日

募集要項

応募資格 | 2024年3月国家試験合格見込者及び取得者

採用人数 | 7名（予定）

試験日程 | 2023年8月ごろから

選考方法 | 面接、小論文、小テスト

処遇

- 身分：正職員
- 給与：1年次基本給40万円 その他諸手当等を含む年収約522万4千円（時間外勤務手当は別途支給）
2年次基本給45万円 その他諸手当等を含む年収約587万7千円（時間外勤務手当は別途支給）
- 社会保険：健康・厚生年金・雇用・労災
- 宿舎：有り
- その他：住宅手当／無

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日・土）
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先
担当者：総務課 高野
TEL：029-872-1771
FAX：029-874-4763
E-mail：masaki.takano@central.or.jp

女性医師支援

- ・24時間対応託児所あり
- ・短時間正社員制度あり
- ・医師70人中21人が女性医師
- ・病児保育体制有



応募・問合せ先

つくばセントラル病院

〒300-1211 茨城県牛久市柏田町1589-3
担当者：総務課 高野 匡規
TEL：029-872-1771
FAX：029-874-4763
E-mail：masaki.takano@central.or.jp
URL：http://www.central.or.jp



■JR常磐線牛久駅下車 バスで10分
牛久駅東口より企業バスを運行
■圏央道つくば牛久ICより車で15分

研修プログラムの特色

1. 医療機能評価認定病院、緩和ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、県南透析医療の拠点病院、総合リハビリテーションセンター等の病院機能の特徴を活かし、始祖的な臨床能力を習得する。
2. 選択研修として希望診療科のローテートが可能。

研修スケジュール例

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						救急			外科	選択必修	小児科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	小児科	選択必修	産婦人科	地域	精神科		選択					

※各研修医の研修計画によって診療科の順序は異なります。また、選択必修は、外科・麻酔科・小児科（院外）・産婦人科・精神科（院外）から選択

※院外：宮本病院（精神）
筑波メディカルセンター病院（小児科）
筑波大学附属病院（全科）

専門研修の募集について

後期研修プログラムは提供しておりませんが、適切な進路指導をいたします。

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定教育施設
- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本循環器学会研修関連施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本透析医学会教育関連認定施設
- ・日本アフェシス学会認定施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本麻酔科学会認定病院
- ・日本医学放射線学会修練機関
- ・日本脳神経外科学会連携施設
- ・日本外科学会専門医制度修練施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本手外科学会認定研修施設
- ・日本産科婦人科学会卒後研修指導施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・マンモグラフィ検診施設画像認定施設
- ・日本口腔ケア学会認定施設

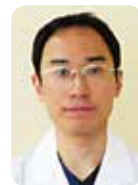
病院からメッセージ



理事長
竹島 徹 理事長

かつて先輩医師から言われました。「入局したばかりの2年間の修練時代は医師の骨格を作る時代。医師として一生が決まる本場に大切な時代だ」と。そのことは、現在の初期研修制度の時代であっても真実であると思います。

わが社会医療法人は「一人の人を大切に医療に徹する」との法人理念のもとに地域密着、急性期医療、プライマリケアと専門病院としての機能の充実に努めています。機能評価、県南透析医療の拠点病院、周産期医療、リハビリ医療などの特色に加え、医療と介護の複合体連携の強みを利用して、プライマリケアを遂行できる臨床研修プログラムとします。



1年目 研修医師
内田 暁

私は筑波大学病院で9か月勤務してから当院での勤務を始めました。

大学と違って医師の数が少ないため、主治医の先生までの距離が大学の時と比べて非常に近く、質問や提案などはすぐ主治医の先生に伝えられ、自分が考えたことへのフィードバックを得やすいという良さがあります。さらに、医療職・非医療職問わずコミュニケーションしやすく、業務遂行するサポートが充実した環境だとも感じます。当院プログラム所属の1年目研修医は2人ですが、筑波大学やメディカルセンターの研修医の先生も短期ローテートしに来るので、仲間もできやすい環境です。令和5年度採用の研修医は5名でして、今後どんどん初期研修の体制も充実していくだろうと考えます。共に働けることを楽しみにしております。